



天津っ子

~Amatsu with your smile~

*「天津っ子」は本校HPでご覧いただけます。「天津っ子」で検索してください。 真庭市立天津小学校

「平和」について考える

6月14日(水)、心をつなぐ地域の会(おちあい)の主催による平和学習講演会が行われました。ウクライナから避難し、現在総社市役所で勤務されているチジェンコ・アロナさんに、オンラインでウクライナの自然や文化、現状についてお話いただきました。落合地区の各小学校の高学年がオンラインでお話を聞きました。天津小は6年生が参加しました。

戦争によって、日々の生活だけでなく、豊かな自然や文化が失われたことが分かりました。人間だけが生活しているわけではないことを考えさせられるお話でした。

6月15日(木)の落合朗読サークルの6年生での読み聞かせでは、作家で戦史研究家でもあった半藤一利さん原作の「焼けあとのちかい」という絵本を紹介していただきました。半藤さんの実体験をもとにした、東京空襲を中心とした戦争についての絵本でした。半藤さんは、「絶対」という言葉を使うことを嫌い、世の中に「絶対」はないとおっしゃっていた方ですが、その絵本には、「これだけは、絶対といえること」として「戦争だけは絶対に はじめちゃいけない」という言葉がありました。

6年生の子供たちは、この2つの学習を通して「平和」について考えることができました。



チジェンコ・アロナさんのお話



絵本「焼けあとのちかい」

「エコ」な生活を考える

6月12日(月)、3年生が真庭市環境課による「ふろしき」の使い方を知る出前講座を受けました。環境課勤務の本校卒業生の芦田さんが、3年生の子供たちに、ふろしきのいろいろな包み方を教えてくださいました。物の形に合わせて、結び方を変えれば包んで運ぶことができる「ふろしき」のよさを知ることができました。エコバックとして「ふろしき」を使うのもよいかもしれませんね。



エスパスプレゼントコンサート

6月13日(火)、3年生から6年生がエスパス主催の「プレゼントコンサート」に行きました。岡山フィルハーモニック管弦楽団 打楽器アンサンブルによる「ミッションインポッシブル」など全13曲の生演奏を聴くことができました。子供たちの感想を読んでもみると、「カスタネットを使った音のキャッチボールがおもしろかった。」「バトルフォーザグラウンドという曲が心にのこった。」など、心に残った瞬間や気に入った曲が個々で違っていました。子供たち一人ひとりが、各自の感性で楽しんだことが分かりました。素晴らしい体験をありがとうございました。



バイオマス出前講座

6月16日(金)、6年生が真庭市林業・バイオマス産業課によるバイオマスについての学習を行いました。今年度も、講師に「はにわの森」代表の大岩さんに来ていただきました。バイオマスとは何かやバイオマス発電について、合板や集成材、CLT木材の仕組みについて実物を見たり、簡単な実験をしたりしながら学びました。つぎは、実際にバイオマス集積場やバイオマス発電所等の見学に行く予定です。



簡易浄水場見学

6月16日(金)、4年生が社会科の学習で福田にある簡易浄水場へ見学に行きました。真庭市水道課の方に、浄水場の仕組みを教えてくださいました。ありがとうございました。

普段学校や家庭で使っている水道水が、旭川からポンプで吸い上げられ、簡易浄水場で飲める水になっていることなどを知ることができました。また、どんな機械や仕組みで水を浄化しているのかも自分の目で確かめることができました。

